

米大学での先端研究を実体験する!
さらに、米・独の研究室でステップアップ!
詳細はページ下に

🇯🇵 🇺🇸 理系学部生

夏季短期 留学

Research & International
Experiences for Students
2023



アメリカ留学予定期間

2023年8月6日(日) ~ 9月24日(日) 予定

Nakatani RIES 広がるキャリア構築ネットワーク

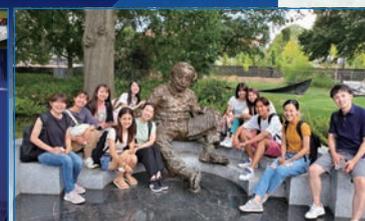
Nakatani RIES 研究留学生が参加しやすい体制

1 ジョージア
工科大学研究室の
一員としての
研究活動

2 志を共有できる
意識の高い
仲間との出会い

3 必要費用の
大部分は
中谷財団より支給

4 アカデミック
カレンダーを
配慮した留学日程



2023年夏季に米ジョージア工科大学へ短期留学する学部生(1年生~3年生)を募集しています。

本プログラムは過去7年間に約70名強を欧米大学の研究室に送ってきました。

学部生のうちに研究体験ができると同時に、米国の教授・学生や志を同じくする国内の大学生とのネットワークを築くこともできます。

グローバルに活躍する研究者を目指す学部生が今後のキャリアを考え、
拡げることができるプログラムです。

アドバンスプログラムについて
【春季インターンシッププログラム】

夏季プログラムでの経験に基づき、自らの力で、より本格的な研究活動を欧米の
大学*で体験する春季の短期留学です。

*財団の指定する研究室が対象。2023年春は、Harvard大学(物理)・
Georgia Tech・UC Davis(バイオ)・アーヘン工科大学(化学)・ドイツ人工知能研究センターで実施。

詳細は中谷財団ウェブサイトへ

<http://nkries.jp/>





国際学生交流プログラム
Research & International Experiences for Students

NAKATANI RIES 2023



期間

募集期間(予定)

2023年
1月10日～2月25日

留学期間(予定)

2023年
8月6日^{出国}～9月24日^{帰国}

修了者は春季インターンシップであるアドバンスプログラムに応募可能です。

2023年5月末または6月初めの週末に事前オリエンテーション、9月末または10月初めの週末に成果発表会を行います。留学期間も含め、すべて出席必須です。

対象 / 条件

対象者

10名程度

日本の大学の理系学部[※]に所属する
1年生～3年生(応募時点)

特に1年生、2年生(留学時点で2年生、3年生)の積極的な参加を期待します。

条件

- ① 日本国籍または永住権を有すること。
- ② 英語環境下でリサーチインターンシップを行うに必要な英語力。

プログラム / 助成

プログラム内容

- 渡航前オリエンテーション(国内)
- ジョージア工科大学におけるオリエンテーション
- ジョージア工科大学の研究室におけるリサーチインターンシップ
- 帰国発表会(国内で2023年10月7日予定)

▶ 以上を含め、当財団が指定する全日程参加が応募の条件です。

助成内容

- 研修費用(日本、米国) ● 食費(一部)
- 渡航費ならびに国内外の移動費 ● 滞在費
- 海外旅行保険代
- PCR検査、コロナ禍での海外留学に必要な費用 ほか

▶ パスポート取得費用、通信費、観光費等の個人的費用は本人負担

申込みについて

申込み方法

下記URLより、詳細を確認、My Pageを取得し申請ください。

<http://nkries.jp/>



書類提出

成績証明書(英文)・履歴書(英文)・
英文Essay(最大2500文字)3編。

審査 / 結果

審査方法

審査委員会において書類選考後、面接を実施。理事会にて最終決定します。

▶ 面接予定日: 2023年3月18日または19日に東京にて実施。
[面接会場までの交通費は支給します。]

結果発表

2023年4月上旬

助成対象として採用された場合、本人に直接通知し、
詳細は別途お知らせします。



voice from students
RIESに参加して

書き切れないほどたくさんの経験と学び



名古屋大学 工学部 化学生命工学科
秋田 佳穂さん
[3年(2022年留学当時)]

本プログラムで得た最大の財産は、優秀な人たちとの関わりです。国際的な研究者になるという同じ夢を持つNakatani fellowsは、高い志を持ってお互いに応援し、切磋琢磨できる大切な友人となりました。

以前は海外で研究者として働くことについてぼんやりとした憧れを持っているだけでしたが、この研究経験を通して詳細かつ具体的に理解することができました。目標であるアメリカでのPh.D取得についてもより現実的な方法を考えています。

用紙が100枚あっても書ききれないくらいたくさんのごことを体験し、考え、学ぶことができた2か月でした。本プログラムは、研究者としてだけでなく、人間としての土台への最高級の肥やしになりました。

お問い合わせはHPからお願いします。 <https://www.nakatani-foundation.jp/>



公益財団法人
中谷医工計測技術振興財団

本 部 : 〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8階
神戸分室 : 〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通一丁目5番1号 国際健康開発センタービル(IHDビル)5階